



研修体験談

「地域医療研修」

関門医療センター卒後臨床研修
初期研修医2年目 永田 淳也

掲載日:令和5年7月3日



地域研修 まとめ

関門医療センター 研修医2年目 永田 淳也

今回の研修で学んだこと

- 訪問診療について
- 疾病予防の啓蒙と病院間連携

訪問診療について

- 訪問診療
→ 計画的な医療サービス(診療)を行うこと
- 往診
→ 状態悪化時・緊急時に都度、診療を行うこと。

訪問診療の必要性

- 周防大島町は人口約15000人
65歳以上が約8000人で高齢化率は55%(令和4年7月時点)
- その中には施設入所者や居住地区の交通面より
通院することが難しい人もいる
→ 計画的な医療サービスが必要！！

訪問診療で印象に残ったところ

- ・ 訪問診療や訪問リハで母親が子供(20代)を介護して生活している家庭が見られた。
- ・ 道中がとても坂道で向かうまで一苦労したお宅への訪問診療
- ・ 施設への訪問診療で主治医意見書の記載内容について学んだ。

疾病予防の啓蒙

- ・ 高齢に伴い高血圧症や脂質異常症、糖尿病といった慢性疾患を抱える患者が非常に多い。



予防の啓蒙の重要性を再確認できた。

病院間連携について

大島病院では治療が難しい場合は他病院への紹介が必要となる。



地域連携室の存在は欠かせない!!

その他にも

- 職場巡視の見学をさせていただき、地域産業医としての役割も見ることができた。
- リハカンファやケアマネジャーさんとのカンファレンスに参加させていただき、多職種連携の重要性を学ぶことができた。

おまけ(周防大島での生活)





最後に

- この1ヵ月、関門医療センターでは経験できない高齢医療の実態・介護に携わる人との関わりを経験できる非常にいい機会でした。
- 院長先生をはじめ実習に協力していただいた多くの方へ感謝申し上げます。